

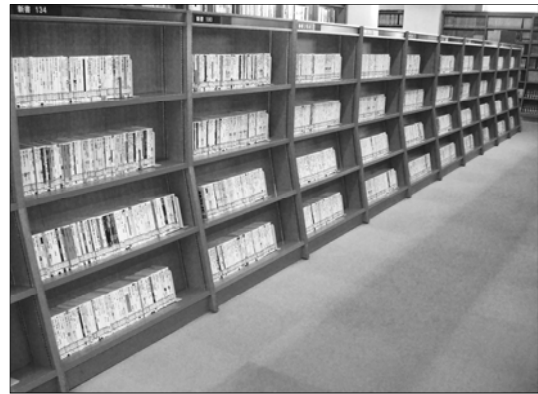
ぱびるす

図書館が少し便利になりました

10月の書庫整理が終わり、11月から中央図書館が再開しました（図書コーナーは10月下旬から再開）図書館をより利用しやすくなるよう、変わった点がありますのでご紹介いたします。

その1 新書コーナーが新設！

以前から要望がありました新書だけのコーナーが新設されました。長く読まれているロングセラーやその時々注目されている事柄や分野についての解説や考察の本など、様々なジャンルの本を一ヶ所に集めました。新書をいつもご覧になる方も、新書を読む機会がない方もぜひご利用ください。



棚に並び新書の数々

※ 新書コーナーの新設に伴い、図書館内の本の配置が変更されています。詳しくは館内にある中央図書館案内図をご覧ください。

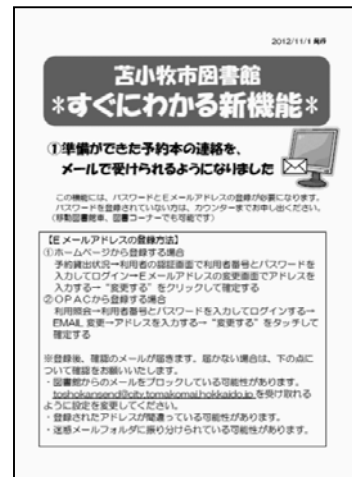
その2 本の予約・検索に新機能

図書館で使用している管理システムが更新されたことにより、新たな機能をご利用いただけるようになりました。ぜひご利用ください！

新たにご利用いただける4つの新機能

- ① 準備できた予約本の連絡をメールで受けられるようになりました
- ② パスワードの変更が可能になりセキュリティが向上しました
- ③ インターネット予約で、受取場所として移動図書館車を選べるようになりました
- ④ 携帯電話からの資料検索や予約ができるようになりました

詳細については、中央図書館や図書コーナーなどで配布している『苫小牧市図書館 すぐわかる新機能』をご覧ください。



A5二つ折りのチラシです

中央図書館 年末年始の開館・休館予定

12/29	12/30	12/31~1/5	1/6	1/7	1/8
開館日	開館日	年末年始の休館日	開館日	休館日	開館日
17時まで	17時まで		17時まで		19時まで

※12月から2月までの中央図書館カレンダーは8ページをご覧ください

新着図書(一般書)

お役立ち本

『おゆうぎ会の服とこもの』 ブティック社
 『Q&Aくらしの税金知識 平成24年版』 大佐 肇/編著 新日本法規出版
 『Q&A児童虐待防止ハンドブック』 ぎょうせい
 『「こどもと映画」を考える』 キネマ旬報社
 『証拠・資料収集マニュアル』 新日本法規出版
 『女性の仕事全ガイド'14年版』 成美堂出版編集部
 『知っておきたい知的財産活用術』 香坂 玲/編著 ぎょうせい
 『ジェイ・アール北海道バス』 BJエディターズ
 『卒論執筆のためのWord活用術』 田中 幸夫/著 講談社
 『楽しく手作り芋と木と消しゴムの年賀状』 小町谷 新子/著 日貿出版社
 『闘病記専門書店の店主が、がんになって考えたこと』
 星野 史雄/著 産経新聞出版

『日曜炭焼き師入門』 岸本 定吉/著 総合科学出版
 『『のぼうの城』 オフィシャルブック』 角川書店
 『はじめよう! ミュージックベル』 竹内 圭子/編著 自由現代社

海外文学

『アイリーンといっしょに』 テレル・ハリス・ドゥーガン/著 ポプラ社
 『エコー・メイカー』 リチャード・パワーズ/〔著〕 新潮社
 『食べることも愛することも、耕すことから始まる』
 クリスティン・キンボール/著 河出書房新社
 『ビルバオ-ニューヨーク-ビルバオ』 キルメン・ウリベ/著 白水社
 『法螺吹き友の会』 G. K. チェスタトン/著 論創社
 『無罪』 スコット・トゥロー/著 文芸春秋

日本文学

『愛について、なお語るべきこと』 片山 恭一/著 小学館
 『犬とハモニカ』 江国 香織/著 新潮社
 『無花果とムーン』 桜庭 一樹/著 角川書店
 『夫ががんになったら』 土倉 玲子/著 北海道新聞社
 『ことり』 小川 洋子/著 朝日新聞出版
 『衣もろもろ』 群 ようこ/著 集英社
 『自殺の国』 柳 美里/著 河出書房新社
 『少しだけ、おともだち』 朝倉 かすみ/著 筑摩書房
 『空より高く』 重松 清/著 中央公論新社
 『つむじダブル』 小路 幸也/著 ポプラ社
 『のろのろ歩け』 中島 京子/著 文芸春秋
 『ヒートアップ』 中山 七里/著 幻冬舎
 『編集ガール!』 五十嵐 貴久/著 祥伝社
 『満月ヶチャップライス』 朱川 湊人/著 講談社
 『四〇一二号室』 真梨 幸子/著 幻冬舎

歴史・時代小説

『光琳ひと紋様』 高任 和夫/著 潮出版社
 『西海の虎』 矢野 隆/著 講談社
 『月の輪草子』 瀬戸内 寂聴/著 講談社
 『等伯』 上下巻 安部 竜太郎/著 日本経済新聞出版社
 『花見ぬひまの』 諸田 玲子/著 中央公論新社
 『召し捕ったり!』 井川 香四郎/〔著〕 学研パブリッシング
 『我二救国ノ策アリ』 仁木 英之/著 幻冬舎



『本のおかわり もう一冊』

桜庭一樹/著
東京創元社

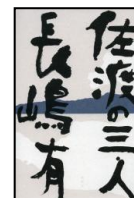
直木賞作家
桜庭一樹さん
の読書日記第5段…なのですが、編集の方との、ノリの良い会話も楽しめる本です。



『この年齢だった!』

酒井順子/著
集英社

レディー・ガガに紫式部。
著名な女性達
に転機が訪れた年齢は。その
時どんな事があったのか。人
気雑誌MOREの連載が書籍化。



『佐渡の三人』

長嶋有/著
講談社

『脱力して見え
ますが、実は最高
傑作!』。帯の
一文が目を引きました。職員
も予約待ち中の一冊です。



『陰陽師 酔月/巻』

夢枕獯/著
文芸春秋社

野村萬斎さん
が主演を務め
た映画原作の
新刊。のぼうの城を見た方は、
映画陰陽師とこちらもどうぞ。

本の情報・話題の本

図書館に住む本の話

今回のテーマ：北欧について

北欧：ヨーロッパの北部。一般にアイスランド、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランドの五か国を指す（広辞苑第四版より）。冬が来ると、北欧と銘打った本をよく見かけます。それは寒い地域特有の編み物の本だったり、サンタクロースが住む村がある国が含まれたりしているからなのですが、その他にも北欧神話やムーミン・家具・学力世界一の国、のように意外と覚えのあるキーワードが多い地方です。この冬は同じく寒いヨーロッパの地方の事を知ってみてはどうでしょうか。

『世界の建築・街並みガイド 2』



予約本ランキング



「ナミヤ雑貨店の奇蹟」

- | | | |
|------------------|------------|------------|
| 2 | 『虚像の道化師』 | 東野圭吾 (109) |
| 3 | 『ソロモンの偽証』 | 宮部みゆき (83) |
| 4 | 『禁断の魔術』 | 東野圭吾 (76) |
| | 『舟を編む』 | 三浦しをん (76) |
| * 『三匹のおっさん ふたたび』 | | |
| | | 有川浩 (61) |
| | 『白ゆき姫殺人事件』 | 湊かなえ (60) |
| | 『空飛ぶ広報室』 | 有川浩 (57) |
| | 『サファイア』 | 湊かなえ (56) |
| | 『神様のカルテ 3』 | 夏川草介 (52) |

寄贈していただきました

苫小牧NP0法人連合会

『ソロモンの偽証第3部』
他 一般書 5冊

苫小牧地方法人会

『別れ際に「ありがとう」で
言えば最高よ』
他 一般書 20冊



苫小牧市民薬局

『医者からもらった薬が
わかる本2012-2013年度』
他 一般書 40冊

トヨタ自動車北海道

『本の歴史文化図鑑』
他 一般書 91冊 児童書 78冊



図書館員の読書日記

今回は「K」の日記です

今から十年以上も前のことである。
まったりとした昼下がり。ポケーっとテレビを見ていた。横で、三歳になるチビちゃん（長男）が、積み木で遊んでいる。
何気なく見ていたテレビで、どこかの先生（お医者さんか大学の教授か）がこう言いきった。
「子どもというのは母親のおなかの中にいる時の記憶をみんなもっているのです。ただ、その記憶は忘れていく記憶なのです」と。
（この先生言いきっちゃったよー大丈夫か？）
とかるくつつこみをいれていた。
確認する方法はなくもない。
とりあえず、チビちゃんにきいてみる。
「ねえ、チビちゃん」
『ちびじゃない』
いつものやりとりだ。
「チビちゃん、ママのおなかにいたの知ってる？」
『しってるー』
（おっと、予想外の言葉が返ってきたぞ）
「ねえ、おなかの中ってどうだった？」
『くらかったー』
（おいおいまじか）
「ねえ、チビちゃんごはんはどうしてたの？」
『たべなーい。みずのんでた』
（.....）

そんなやりとりがあってその場は終わった。

それから、幼稚園年長さんになったチビに、おなじことを聞いてみた。

「ねえ、チビちゃん」

『ちびじゃない』

このやりとりは変わらない。

「チビちゃん、ママのおなかにいたの知ってる？」

『しらなーい』

（あの時、テレビに出ていた先生、ごめんなさい。あなたは、まちがっていなかった。）

心の中で謝った。

図書館に「おぼえているよ。ママのおなかにいたときのこと。」(376.1 池川明/著)、「覚えてるよ！生まれる前のこと」(598.2 池川明/著)という本があります。

年頃（三歳くらい）のこどもをおもちのお母様方、一読を。

そして、一度聞いてみてください。

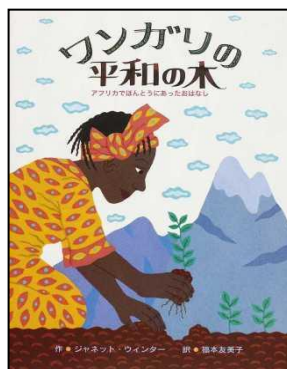
なにかなんか楽しい言葉が聞けるかもしれません。



こどもの本のページ



今月の
イチオシ
作家



「ワングリの平和の木」
ジャネット・ウィンター
／作
BL出版 エワ

ジャネット・ウィンターさん

シカゴ生まれの絵本作家。

伝記や、実際にあったことにもとづいた絵本を多数手がける。

『ろばのとしょかん コロンビアでほんとうにあったおはなし』（集英社）『ワングリの平和の木 アフリカでほんとうにあったおはなし』（BL出版）『ママ ほんとうにあったおはなし』（小学館、ホーンブック賞受賞）『バスラの図書館員 イラクで本当にあった話』（晶文社）など。

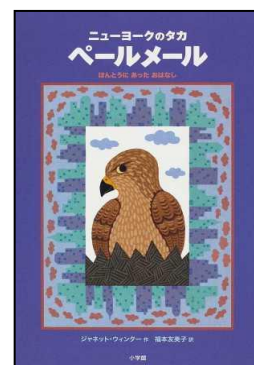
ニューヨーク在住。



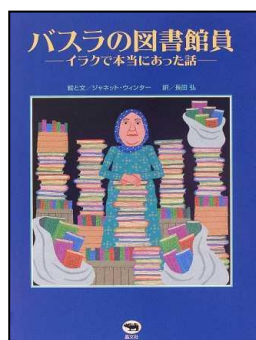
（「いつもみていた」奥付より抜粋）



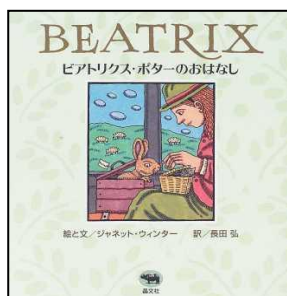
「いつもみていた」
ジャネット・ウィンター
／作
福音館書店 エイ



「ニューヨークのタカ
パールメール」
ジャネット・ウィンター
／作
小学館 エ二



「バスラの図書館員」
ジャネット・ウィンター
／絵と文
晶文社 エハ



「ビアトリス・ポターのおはなし」
ジャネット・ウィンター
／絵と文
晶文社 エヒ



「ママ」
ジャネット・ウィンター
／作
小学館 エマ



「ろばのとしょかん」
ジャネット・ウィンター
／文と絵
集英社 エロ

あたらしい本

10・11月に届いた本から
ピックアップ♪



「ザ・ワースト中学生」 93サ
ジェームズ・パターソン／作，クリス・テ
ベッツ／作，ローラ・パーク／絵，
たから しげる／訳
ポプラ社

悪魔のような先生と戦った、
魂を学校のいじめっ子に1ド
ルずつ売った、学校で一番人
気の女の子と「恋」みたいな
ものに落ちた…。レイフ・キ
ャチャドリアンの身の毛もよ
だつ中学校生活の物語。



「だじゃれどうぶつ図鑑」 48タ
藪内 正幸／原案・絵，
スギヤマ カナヨ／文
偕成社

カンガルーがカングルー
？ 動物画家の藪内正幸が
動物の名前や生態から考え
た「だじゃれどうぶつ」の
絵を、実際に存在する動物
たちの絵と並べて紹介。



「ひみつのたからさがし」 Eチ
よこみち けいこ／作
ポプラ社

じいちゃんちの物置で
たからの地図を見つけた
ぼくとひろきは、大人に
はないしょでたからさが
しをすることに。
あっちこっち穴をほっ
てさがしてみたけれど、
たからものは見つからな
くて…。



「小さいのが大きくて、大きいのが小さ
かったら」 Eチ
エビ・ナウマン／文，ディーター・ビース
ミュラー／絵，若松 宣子／訳
岩波書店

もし、小さな生きも
のが大きくなって、大
きな生きものが小さく
なったら、どんな世界
になるだろう？
もしネズミが大き
なったら…。ネコにお
びえる小さなネズミが
想像する、大きさがあ
べこべのふしぎな世界
を描く。



よみきかせ会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

○舌小牧子どもの本の会○
(第1・第3日曜日)

12月2日・12月16日
1月20日(6日はお休み)

午後3時～3時30分

※12月16日のみ午後2時～
3時、会場 2階講堂

○にじのはし○

(第2土曜日)

12月8日・1月12日
午後11時～11時30分

(第4土曜日)

12月22日・1月26日
午前11時～11時30分
午後2時～2時30分

ストーリーテリング おはなし会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

○おはなしオルゴール○
(第3土曜日)

12月15日・1月19日
午後2時～2時30分

かみしばい
紙芝居

会場 サンガーデン
定員 40名

○かみしばいおじさん○
(第2土曜日)

12月8日・1月12日
午後2時～2時30分

ていきてき ぎょうじ 定期的な行事の おしらせ

めいさく しょうえいかい
名作アニメビデオ上映会

会場 2階講堂
定員 70名

世界の名作やいわむらか
ずおさんの作品などのビ
デオを上映します。

(第2・第4日曜日)

12月9日・12月23日
1月13日・1月27日
午後2時30分～3時

郷土・参考資料室からのお知らせ

寄贈図書のご紹介

今回はトヨタ自動車北海道株式会社よりいただいた資料をご紹介します。
これらの資料は、全て2階郷土・参考資料室で見ることができます。



世界の自動車大図鑑

(537.9/セ)

ネコ・パブリッシング／刊

2012.05



人類とともに進化するクルマの歴史を10年ごとに区切り、詳細なビジュアルで紹介するのがこの大図鑑です。

もちろんトヨタの自動車や、その歴史も掲載されています。

ハメット ダシール

現代文学難読作品名辞典

(910.26/ケ)

日外アソシエーツ株式会社／編集

2012.07

平成元年以降に刊行・発表された難読作品の読み方が8,043点収録されています。

読めない漢字の作品名も、漢字の画数・漢字の音訓から引けるので便利です。

現代文学 難読作品名辞典



日外アソシエーツ

★ この他にも以下の資料を寄贈していただきました ★

新自治用語辞典 改訂版	318.0/シ	南アジアを知る事典 新版	225/ミ
日本架空伝承人名事典 新版	281.0/ニ	アメリカを知る事典	253/フ
現代日本経済史年表	332.1/ケ	本の歴史文化図鑑	020.2/ホ
戦後歴史学用語辞典	210.03/セ	スーパーマッフル東北	291.2/ト
日本語源広辞典 増補版	812.0/ニ	スーパーマッフル関東	291.3/カ

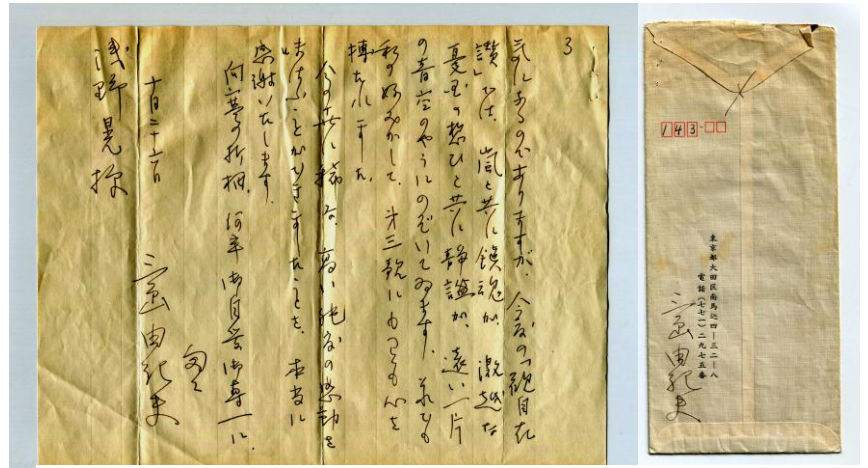
(司書: 沖津)

ふるさとの一片(56)

～郷土資料コーナーで見つけた～

三島由紀夫からの手紙

—浅野晃氏寄贈145通の書簡から—



▲ 自決一ヶ月前、昭和45年10月26日付の三島由紀夫からの手紙（当館所蔵）

勇弘に疎開した浅野晃氏

昭和五十二年（一九七七）二月十六日の苦小牧民報には「川端、三島の肉筆書簡 図書館で永久保存」と大きな見出しの記事が載っています。「勇弘で疎開生活を送った浅野さんが寄贈。

好事家にとっては、よだれが出そうな川端康成、三島由紀夫といった作家の肉筆による書簡が、市立苦小牧図書館に永久保存されることになった。」と続いています。寄贈者の「浅野さん」とは浅野晃氏のことです。明治三十四年（一九〇一）から平成二年（一九九〇）の八十九年の生涯に渡って、文学者、詩人、評論家として活躍され、その著作数は二百冊を超えています。

苦小牧ゆかりの人として当館が位置づけているのは、氏が終戦後の昭和二十年（一九四五）から五年間を、大日本再生製紙（後の国策パルプ、現在は日本製紙）の水野成夫、南喜一の招きで家族と共に勇弘へ疎開し、過ごされたことによります。

このわずか五年間で、氏が当地に与えた文化的な影響は計り知れないものがあります。苦小牧町民を対象に民主主義講座を開いたり、勇弘で「こぶし短歌会」を作って短歌指導を行ったり、詩、演劇、美術などの指導にも当たら

れました。戦後、全道に先駆けて労働組合が国策パルプ勇弘工場に発足したのも氏の尽力が大きかったようです。そのほか、勇弘小、緑小、清水小の三校と苦小牧高等工業専門学校の校歌を作詞し、郷土に貢献されています。

勇弘原野の寂寞広大さに魅力を感じ「私は、はじめて勇弘の地を踏んだときから、一度でこの地が好きになった」として「勇弘の曠野が、私の詩心をうながして、毎日二、三編の詩が出来たのである」と回想しています。

三島由紀夫からの二通の手紙

勇弘滞在中の作品集「寒色」は読売文学賞を受賞しました。この作品を読んだ三島由紀夫からの手紙が当館に寄贈されています。「これほど格調の高い詩集を近來見たことがございません。離騒経に匹敵すべき絶唱であって、古典として残るべきものと存じます」という書き出しで始まり、四枚の便せん

に美しい書体でびっしりと賛辞が述べられています。残念なことは筆記具が万年筆のためインクが薄くなってきたることです。差し出し日は昭和三十九年（一九六四）一月十九日です。

その後、昭和四十二年（一九六七）に浅野氏の長篇詩「天と海」を三島が朗読し、レコードとして残っています。

この時「自分のやうなものが朗読して御高作を傷つけることを恐れてゐるが、そのやうなことはないやうに努力するから枉げてお許し願ひたい」と氏に哀願するような手紙を送っています。

当館所蔵の三島からの二通目の手紙は詩集「観自在讃」への返札です。「今の世に稀な、高い純度の感動を味はふことができましたことを、本当に感謝いたします」と三枚の便せんに感動が綴られています。悪い予感のかけらもない手紙は昭和四十五年（一九七〇）十月二十六日付で、この一カ月後の十一月二十五日に自衛隊市ヶ谷駐屯地（現・防衛省本省）で自刃を遂げることとなります。文末の「向寒の折柄、何卒御自愛御専一に」が常套句とは言え、なんとも皮肉ではありませんか。

浅野氏から当館に寄贈された書簡は全部で一四五通あります。三島、川端以外にも阿川弘之、尾崎士郎、串田孫一、棟方志功、大川周明など斯界の著名人が多く、いずれも貴重なものばかりです。本物の永久保存に努めることはもちろんのこと、今年度中には、すべてデジタル化して公開活用を図っていきます。

引用・参考資料
浅野晃詩文集 二〇一一 中村一仁 編集

（大泉）

行事のお知らせ

赤ちゃんと楽しむ

はじめての絵本のひろば

■平成25年2月開催分（1歳児対象）
 日時 平成25年2月8日（金）
 10:30～11:30
 対象 1歳児とその保護者
 申込 1月23日（水）～1月29日（火）
 中央図書館カウンター または
 電話 35-0511
 定員を超えた場合は1月30日（水）に
 抽選（はじめての方優先）
 連絡方法 申込者全員に1月30日（水）に電
 話で連絡いたします。

苫小牧地区小・中学校

学級新聞コンクール入賞作品展

第51回苫小牧地区中学校及び第38回苫小牧
 地区小学校学級新聞コンクールの入賞作品を展
 示いたします。
 期間 12月1日（土）～12月16日（日）
 会場 中央図書館1階 カウンター前

平成24年度

小・中学生俳句入賞作品展

第64回苫小牧文化祭協賛俳句大会での小中
 生の俳句入賞作品を色紙に清書し、展示いたし
 ます。
 （苫小牧俳句協会との共催イベントです）
 期間 12月18日（火）～12月30日（日）
 会場 中央図書館1階 カウンター前

苫小牧川柳社作品展

第64回苫小牧文化祭川柳大会での入賞作品と
 川柳サークル苫小牧川柳社の会員の作品を展示
 いたします。
 （苫小牧川柳社との共催イベントです）
 期間 平成25年1月26日（土）～
 2月11日（日）
 会場 中央図書館1階 カウンター前

中央図書館カレンダー

平成24年12月

日	月	火	水	木	金	土
						①
②	3	4	5	6	7	⑧
⑨	10	11	12	13	14	⑮
⑯	17	18	19	20	21	⑳
㉓	㉔	25	26	27	28	㉑
⑳	31					

23日 天皇誕生日（開館）
 24日 振替休日（開館）

平成25年1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑬	14	15	16	17	18	⑰
⑳	21	22	23	24	25	㉒
㉓	28	29	30	31		

14日 成人の日（開館）

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	②
③	4	5	6	7	8	⑨
⑩	11	12	13	14	15	⑯
⑰	18	19	20	21	22	㉒
㉓	25	26	27	28		

11日 建国記念の日（開館）

12月31日～1月5日は年末年始の休館日となります。

寄付・寄贈ありがとうございました。
 （平成24年9月21日～11月20日）
 個人 117件 1,061冊
 団体 51件 70冊

展示コーナー 今後の予定

閲覧室入口

- イギリス人作家展
～12月27日
- OO入門特集
12月29日～1月24日

児童コーナー

- クリスマスの本
～12月24日
- 自由研究・工作・読書感想文の本
12月13日～1月17日
- 作家コーナー
12月29日～4月末

一般書コーナー（検索機横）

- 2013年大河ドラマ 八重の桜
～12月27日
- モウソウ旅行
12月29日～1月24日

※ 休館日の展示の公開はありません。
 ※ 行事・催し・展示については、変更・中止
 になる場合がございます。

苫小牧民報販売店で 「みに図書館」事業スタート

株式会社苫小牧民報社と苫小牧民報販売店協
 会で絵本や児童書、育児書などを市内の全販
 売店での貸し出しを行う「みに図書館」事業が
 開始されました。

この事業は「子どもたちに読書や絵本の楽し
 さを伝え、青少年の健全育成や識字教育に貢
 献すること」を目的とした事業で、中央図書
 館は購入する本の選定についての協力を行いま
 した。「みに図書館」の本は全て佐野販売店
 （北栄町）に置かれ、市内の販売店を通じて
 借りることができます。苫小牧市在住者
 であれば自由に利用できます。事業につ
 いての詳細は最寄りの苫小牧民報販売店
 にお問い合わせください。

※黒塗り白字になっている日は休館日です
 丸印がついている日は午前9時30分～午後5時開館
 印が付いていない日は午前9時30分～午後7時開館